

カローリング用自助具の製作

1 相談内容

相談者は、本人の母親です。本人は電動車いすを利用しており、スポーツをやってみたいと思っています。ボッチャは誰かにセッティングしてもらう必要があるのですが、自分できるようにカローリングが良いのではないかと本人が練習を始めたばかりです。カローリングは氷上ではなく室内でカーリングができるように考案された新しいスポーツです。

練習場所の名古屋市障害者スポーツセンターで用意された既存のカローリング用自助具(スティック)では短くて使いにくいので、本人に合うようにこのスティックを製作することにしました。

2 利用者プロフィール

10代男性、筋ジストロフィの方で身体障害者手帳1級です。家族と暮らしています。

3 対応

まず既存のスティックで本人のカローリングでの動作を見せていただいて、スティック長さや重さ、ジェットローラーを押さえる先端部分を検討し、何度も試作を行いました。アルミパイプとプラスチックパイプを組み合わせで強度の維持と軽量化を図り、先端の受け部分は滑り止めに貼付し、角度調節もできるように工夫して製作しました。



ジェットローラーを押さえるスティック先端



使用の様子

4 結果

本人から「これ(スティック)だと軽くて良さそうなので高得点を狙いたい。」との感想をいただき、母親からは「本人が問題なく使用できています。」と名古屋市障害者スポーツセンターでのその後の練習の様子を知らせていただきました。

5 予算

700 円程度